

## 東二運分会組織破壊攻撃粉碎決起集会開催

東京第二運輸所分会は5月22日、組合員約50名を結集し組織破壊攻撃粉碎決起集会を開催しました。

会場には、各地本・分会から寄せられた「檄」や横断幕が所狭しと張り出されました。

主催者を代表して川野組織部長は「一連の組織破壊攻撃を断固跳ね返していく決意をうち固める場にしよう。福島原発事故から一年、当該労組は原発は安全だと言っていたが、今は『想定外の事態だった』で済まそうとしている。「命令と服従・規律と忠誠心」を基礎とした職場支配では安全が脅かされる。職場から声を出し闘おう。そして報復処分撤回裁判に勝利しよう」とあいさつしました。

組合員を代表し、斉藤書記長は「組織破壊攻撃の中、分会執行部は強化された。佳境に入った報復処分撤回裁判勝利に向け、先頭で闘う」。内村副分会長は「小川科長の悪評は関連会社でも知れ渡っている。職場から追いだそう」。尾崎副分会長は「新たな職場で闘っている。これまでの闘いに自信を持ち、今後も職場で苦労している仲間と共に断固、葛西に立ち向かっていく」。庭山分会長は「一連の攻撃にはすべて小川科長が関わっている。執行部を先頭として組合員と共に闘っていく。東二運分会への攻撃はJR東海労組織への破壊攻撃だ。反撃していく」。廣瀬執行委員（本部乗分会長）は「あの事象で再教育は納得できない。断固闘う」と、それぞれ闘う決意を表明しました。

会社は「命令と服従・規律と忠誠心」を基礎とした職場支配をより貫徹しようとしています。しかしそれでは安全は守れません。組織破壊攻撃を職場から跳ね返すことを通じ、組合員、そして鉄道利用者の安全を守ろうではありませんか。

**東二運分会破壊を通じたJR東海労破壊攻撃粉碎！  
分会役員を狙い撃ちにした異常な添乗・処分・再教育を許さない**

